

# 大樹

みなさま  
お変わりなく  
お元気ですか

第21号

令和6年12月吉日  
発行

## 香川県立保健医療大学同窓会翠丘会

すいきゅうかい

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原 281 番地 1  
TEL (087) 870-1212 (代)



### 「地元で生きる」を支えあう —地域共生社会を目指して—

翠丘会会長

松原 文子 (学校法人 穴吹学園 穴吹医療大学校 看護学科 非常勤講師)

香川県立保健医療大学同窓会会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

日頃より、本同窓会の発展のためにご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。

さて、香川県立保健医療大学は、昭和33年開設の県立の看護と検査の養成学校時代から、今年で66年となります。

平成16年に香川県立保健医療大学となり、同年同窓会も「翠丘会」として新たにスタートし、本年で21年です。平成6年、本年の同窓会員数は、82名の新規会員が入会し、総数は3,905名です。主な活動は、総会・記念講演会、文化祭等の協賛及び同窓会活動紹介、講演及び各研究活動の補助、大学図書館へ図書への寄贈、各卒業年度同窓会開催に対する補助などです。また、同窓会会員の皆様へ年1回発刊の会報誌「大樹」を通して近況報告を行っています。さらに、令和4年度からは、同窓会ウェブサイトビキタ(Bikita)を開設しています。随時内容を更新しており、大学祭や記念講演などの報告や会員の皆様が卒業年度毎にそれぞれ開催する同窓会の開催報告などを紹介しています。しかしながら、現在、ログイン率は1割程度で、今後一層の内容の充実と普及が必要ですので、まだの方は同封のIDナンバーからぜひ、ログインしてください。

さて、我が母校の66年の歴史の特徴は、地域の要望に寄り添い身近に活動する専門職を輩出してきたことにあると感じます。地域の健康づくりに貢献する優れた専門職を地元から輩出し、先輩から後輩へと、一人ひとりが、「地元で生きるバトン」を繋いできたことにあると思います。

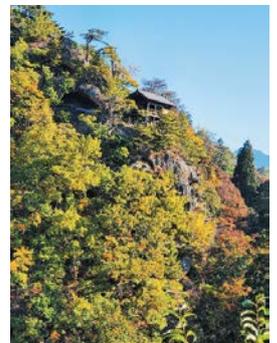
先日私は、山形県で開催された地域ルーラルナーシング学会の学術集会に参加しました。山形の歴史や文化、秋の自然や豊かな食材を堪能しつつ、その土地の生活の一端を知るきっかけになりました。

その集会では、沖縄のトカラ列島の離島支援看護師(通称:しまナース)の活動や離島での災害対策、在宅での看取りを支える住民のケア力、豪雪地帯の除雪ボランティア「雪かき道場」、一人の住民として「孤立しないように細く長く繋がる」「ちょっとだけ」を地元で実践している民生委員さんの活動報告等がありました。

そして、人口減少、高齢化、厳しい自然環境の中で生活する人々の様々な支え合い活動を知ることにより、地域共生社会における医療・保健・看護の可能性、在宅ケア、地域医療を考える機会となりました。

最後に、香川県立保健医療大学の「生命の尊厳を畏敬する深い人間愛」の基本理念のもと、諸先生方のご尽力により、保健医療の高度な専門知識と技術を有した看護師、保健師、助産師、臨床検査技師を県内外の保健医療の現場に多数送り出してくださっていることに感謝いたします。さらに、地域に開かれた大学として生涯にわたる教育の場としての大学機能の強化に取り組んでおられることを心から誇りに感じています。

今年も残り少なくなりました。会員の皆様が新たな希望に胸を膨らませ、健やかに過ごせますよう心からお祈りいたします。



山寺の立石寺と芋煮鍋



## 「3年間を振り返って」

高松赤十字病院  
平松 花純

高松赤十字病院に就職し、看護師として働き始めて3年目になりました。私は今呼吸器病棟で働いています。

入職当初は、慣れない環境の中で必要な知識や技術を身に付けることに精一杯で、実習だけでは計り知れなかった、看護師という仕事の大変さを目の当たりにし、本当に働き続けられるのか不安でした。それと同時に、多忙の業務の中でも人に優しく、患者さんやその家族に寄り添い、質の高い看護をしている先輩に憧れ、少しでも近づきたいと必死でした。今後輩たちが頑張っている姿を見て、私もああだったなあと入職時の頃をよく思い出します。3年経った今でも、忙しい業務をこなすことに精一杯で、日々勉強不足だと感じ落ち込むこともあります。それでも仕事を続けられているのは、同じ環境で頑張る後輩や同期、優しく指導し、励ま

してくれる先輩のおかげだと思います。特に大学から職場も一緒な同期が多いこと、1年目の時のプリセプターが今も変わらず気にかけてくれることは、頑張る気力と心の支えになっていると感じます。

大学生活の約半分の期間は、新型コロナウイルスの蔓延により、なかなか臨地実習に行くことができず、ほとんどがオンライン授業や学内実習へ変わりました。それでも実際の実習に少しでも近いようにと講義をしてくれた先生方には感謝でいっぱいです。課題にテスト、実習、国家試験の勉強、当時は勉強ばかりだと嫌になることもありましたが、今思えば、すごく充実した4年間でした。大学で学んだ知識や勉強の継続力、コミュニケーションスキルは看護師になって活かせていると思います。今後も日々の業務や勉強を通して、成長し続けられるよう頑張っていきたいです。



## 「感謝の気持ちを忘れずに」

香川県立中央病院  
松坂 光起

今年で就職5年目を迎えます。大学生活は楽しい日々が続きましたが、ちょうど就職のタイミングでコロナ禍に突入し、難しい時間を過ごしたように思います。

就職1年目は生化学に配属されました。自動化が進んでおり、毎朝早くからコントロールを測定したりしていることに驚かされました。コロナ禍ということで、業務に関してのルールも多く、対応していくことに苦戦しました。2年目からは微生物に配属され現在に至ります。微生物に配属された当初は、コロナの検査が非常に多く、夜中まで検査室にいることもあり。流行の波もどんどん大きくなり、もう手一杯でしたが、「仕事はしんどい思いをするからお金を貰える」というマインドで頑張りました。微生物は自動化があまり進んでいない為、メンテナンスや精度管理の負担は少ないものの、知識や技術を駆使して自分自身で検査を行うところが大変であり、

魅力的であるとも感じています。今年度は微生物の資格試験を受験しました。仕事と並行して準備を進めていくことは時間的にハードでしたが、周りの方々に支えられながら頑張ることができました。資格試験の勉強を通して、普段行っている業務の意味や価値が本当によく理解できるようになり、当初のマインドも明らかに変わりました。もちろん、仕事する上で給料は大事ですが、仕事で得るものはそれ以外にもたくさんあります。今は微生物のルーチン業務以外に、ICT・AST活動や感染対策会議などにも出させてもらえるようになりました。忙しいながらも充実した時間が過ごせています。

私は本学に入学から今まで、沢山の方々にお世話になっています。熱心にご指導頂いた先生方をはじめ、先輩・後輩・同期の方々からも刺激をもらい励みになっています。難しい時間を乗り越えられているのは皆様のお陰です。今後もお世話になっている皆様への感謝の気持ちを忘れずに頑張っていきたいです。

最後に、保健医療大学同窓会の皆様のご活躍とご多幸をお祈り申し上げます。



## 「夢を現実に」

保健医療学部  
看護学科1年  
山崎 実月  
山村 彩乃

香川県立保健医療大学に入学して半年が経ちました。私たちは、誰かの役に立ちたいという気持ちを抱き、この大学の看護学科に入学しました。

患者さんに寄り添う看護師を目指して私たちは大学生活を始めました。入学前の私たちは、最初からたくさん演習や実習をするものだと思っていました。しかし、実際は専門的な知識を学ぶ座学が多く、少しイメージと異なる部分に戸惑いました。さらに、高校までとは異なる勉強内容に苦戦しました。また、グループワークをする機会が多く、さまざまな人とかかわりを持つきっかけができました。お互いに自分の意見を言い合ったり、支え合ったりできる仲間に出会えたことで、慣れない大学生活も乗り切ることができました。特に仲間と協力し合えたと感じたのは「看護学導入実習」です。初めての实習で緊張しながら実習に挑みました。仲間と共に声をか

けあったため無事に実習を終えることができました。実習後の「実習報告会」に向けてのパワーポイント作成では、同じグループの人たちとお互いに経験したことを伝えあいました。そこでチーム医療についてや患者さんの立場に立って声をかけていた看護師の姿から、患者さんに寄り添う看護とは何かについてイメージを深めることができました。その仲間たちと、これから卒業するまで支え合いながらお互いを高め合っていきたいと思えます。

入学前の私たちは「患者さんに寄り添う看護」に対してのイメージがあまりよく理解できていませんでした。しかし、この半年間の経験で「患者さんに寄り添う看護」のイメージが強くなり、さらに看護学生として成長することができました。これから、将来患者さんに合った看護を提供できるようにするために香川県立保健医療大学で過ごす4年間の中で、さらに看護の技術や知識を深め、同じ目標を持つ仲間たちと常に切磋琢磨しながら、お互いに看護学生としての意識を高めていきたいと思います。



## 「大学院生活を振り返って」

保健医療学研究科  
臨床検査学専攻  
博士前期課程2年  
西岡 凌

私は本学保健医療学部臨床検査学科を卒業後、思考力の向上や手技の研鑽など個人のスキルアップを行い将来の就職活動の選択肢を広げたいと思ったため、大学院進学を希望致しました。

大学院の授業は学部時代と比較し、プレゼンテーションやディスカッションを積極的に組み込んだものとなっています。院進学をする前までは、資料やスライドの作成や発表も苦手感じていましたが、講義の中でフィードバックを頂いたり、数をこなした事で今では上達したと感じています。また、1年後期には看護学専攻科との合同の授業もあり、主体性を育みながら多職種との連携の意識も培える有意義な時間であったと感じています。

研究活動につきましては、研究室に在籍していた先輩方の蓄積された結果や考察などから知見を得つつ、

論文から情報を集めながら仮説立てを行い、実験を進めております。私の所属している微生物学研究室は、別の視点での解釈やアプローチなど新しい事に挑戦する機会が多く頂ける恵まれた環境であると思っています。そのこともあって、研究の日々を重ねる毎に自分自身の成長を実感してきました。

修士2年も後期に入り大学院生活ももう数カ月を残すところとなりましたが、入学してすぐに新型コロナウイルスが五類感染症に位置付けられ様々な制約が解除されていく中という、これ以上なく良いタイミングで院生活のスタートを切れたのは幸運な事だと思っています。そのため、自分が当たり前に行っている生活がとても恵まれたことだと改めて自分に言い聞かせながら、そう多くはない修士までの時間の有効な使い方を考え、できる限り多くのことを学びたいと思えます。

長文となりましたが、最後までご覧頂きまして有難うございました。

## ご挨拶



香川県立保健医療大学学長  
平川栄一郎

今年度より香川県立保健医療大学学長を拝命いたしました平川でございます。同窓会会報大樹の誌上にご挨拶の機会をいただきましたことに感謝申し上げます。同窓会の皆様には日頃より教育環境の充実等、本学運営に対し多大なご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

少子高齢化の波は高等教育機関への進学率にも多大な影響を与えています。18歳人口は昭和41年の249万人をピークとして、令和5年には110万人まで減少し、今から18年後の令和23年にはその数は79万人と推計されています。一方、短大・大学への進学率は約60%であり、将来の大学進

学率の若干の伸長を加味したとしても、18年後には大学等における入学者の定員充足率は約80%になるとされています。つまり、欠員により大学運営が成り立たない大学が生じてくる可能性があるということです。そこで国の中教審におきましては将来社会を見据えた高等教育の在り方について議論が進められているところです。

このように少子化の波が押し寄せる中で、本学におきましては基本理念にありますように高い教養と深い人間愛、確かな知識・技術に基づいた総合的判断力と実践力、未来を拓く豊かな創造性と探究心を育み、県民から愛され信頼される保健医療のプロフェッショナルの育成を行っています。高等教育の在り方が見直される中、学長として微力ではございますが、地域に愛着を持つ質の高い保健医療従事者の育成に励みますとともに、地域に貢献する開かれた大学として本学が発展していきますように尽力したいと考えております。公立大学という立場に甘んじることなく、より一層の魅力づくりを進めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 2024年度

### 「夏のサイエンス教室」in 香川県立保健医療大学

令和6年8月10日(土)に小学生を対象とした夏のライフサイエンス教室を開催しました。参加者はAコース(臨床検査学科)、Bコース(看護学科)に分かれ、実際に手を動かして各テーマを学びました。Aコースは「DNAを取り出してみよう!」というテーマで、自分の頬のDNAを抽出して染色を行いました。どの参加者も自分のDNAを目で見ることができ、子供も大人もDNAに興味を示していました。また、家庭にある材料を使用しているため、お家でも実験したいという参加者が多数おられました。Bコースでは、「聴診器でからだの音をきいてみよう!」をテーマに、からだの中で奏でる音を、聴診器を使って聞いていただきました。実際に聴診器を自分や親の胸にあて、初めて触る聴診器から聞こえる「スースー・ドッキンドッキン」に、びっくり仰天!人の身体に新たな発見の瞬間でした。各コース終了後、希望者には顕微鏡で血液中の細胞とお札に書かれた文字の観察、看護師になりきってICUを体験してもらいました。どのコースも親子で楽しい時間を過ごすことができ、夏休みの思い出になったようです。



# 大学公式インスタグラム はじめました！

香川県立保健医療大学の公式Instagramです。  
ホームページに加えて、大学の学生生活やイベントなどの情報をお届けしています。ぜひフォローしてください！



## クラス同窓会開催助成について

- 香川県看護専門学校 臨床看護学科 第39回生  
令和6年4月27日開催  
JRホテルクレメント高松 フィオーレ、24名参加  
活動内容：卒業後初めてのクラス会であり、クラス担任であった先生の定年退職をお祝いした。
- 香川県看護専門学校 臨床看護学科 第20回生  
令和6年10月25日開催  
小豆島、13名参加  
活動内容：「大人のプチ遠足in小豆島」と題して、食事やオリーブ公園散策、お土産ショッピングを楽しんだ。
- 香川県看護専門学校 臨床看護科 第19回生  
令和6年11月9日開催  
観音寺市 八箱、25名参加  
活動内容：クラス担任の先生を囲み、食事をしながらお喋りに花を咲かせた。

## お知らせコーナー

- 同窓会名簿（2023年版）の販売について  
購入希望同窓会員に、4,000円（送料込み）で販売可能です。  
連絡先：香川県立保健医療大学同窓会事務局 TEL (087) 870-1212(代)
- 会報の郵送が不要な方はお知らせください  
翠丘会会報「大樹」をホームページで公開しています。今後、会報をホームページでご覧になり、郵送での会報が不要な方は、翠丘会ホームページよりご連絡ください。  
(※ログインが必要になります。)

令和5年度収支決算

令和6年度収支予算案

収入の部			
	5年度予算額	5年度決算額	内訳
会費収入	2,088,000	2,088,000	新入会員 87名
雑収入	500	28	利子等
繰越金	2,150,783	2,150,783	
積立金からの移動	0	0	
その他	0	143,108	寄付金
合計	4,239,283	4,381,919	

支出の部			
	5年度予算額	5年度決算額	内訳
会議費	260,000	232,641	
(1) 総会	160,000	136,400	総会 1回
会場代	10,000	0	
講演費	100,000	89,096	
軽食代	30,000	27,226	
雑費	20,000	20,078	総会花代、総会資料郵送代、講師交通費等
(2) 役員会	100,000	96,241	役員・評議員会 2回
旅費	40,000	34,000	役員会交通費
軽食代	60,000	62,241	延べ40名
事業費	1,320,000	1,246,849	
(1) 会報誌発刊	450,000	500,127	
(2) 同窓会名簿作成	200,000	198,000	Bikita年間利用料
(3) 記念品作製	20,000	0	
(4) 専門図書購入支援	500,000	498,722	
(5) 各クラス同窓会開催	150,000	50,000	
事務費	340,000	363,034	
(1) 通信費	300,000	355,064	役員会案内発送代を含む
(2) 消耗品	20,000	1,110	
(3) 雑費	20,000	6,860	入学式アルバイト代、ATM硬貨預払料金
入学式	7,000	1,000	
(1) 旅費	7,000	1,000	会長旅費
卒業式	307,000	225,360	
(1) 旅費	7,000	1,000	
(2) 記念品・花束	300,000	224,360	記念品代、花束代
大学支援金	500,000	281,817	(大学支援金内訳)
その他	50,000	20,000	国際交流事業、大学祭での同窓会出席、助産師交流会、保健師交流会、退職教員への花束等
支出小計	2,784,000	2,370,701	
次年度繰越金	1,455,283	2,011,218	
支出合計	4,239,283	4,381,919	

積立金		
	5年度予算額	5年度決算額
ゆうちょ銀行	6,000,000	6,000,000
百十四銀行	3,005,527	3,005,629

収入の部			
	6年度予算額	5年度決算額	6年度予算内訳
会費収入	1,964,000	2,088,000	新入会員82名(学部生80名、院生2名)
雑収入	500	28	利子等
繰越金	2,011,218	2,150,783	
積立金からの移動	0	0	
その他	0	143,108	
合計	3,975,718	4,381,919	

支出の部			
	6年度予算額	5年度決算額	6年度予算内訳
会議費	100,000	232,641	
(1) 総会	0	136,400	総会なし(令和7年度予定)
会場代	0	0	
講演費	0	89,096	
軽食代	0	27,226	
雑費	0	20,078	
(2) 役員会	100,000	96,241	役員・評議員会 3回
旅費	40,000	34,000	役員会交通費
軽食代	60,000	62,241	延べ54名
事業費	1,440,000	1,246,849	
(1) 会報誌発刊	570,000	500,127	
(2) 同窓会名簿作成	200,000	198,000	Bikita年間利用料
(3) 記念品作製	20,000	0	
(4) 専門図書購入支援	500,000	498,722	
(5) 各クラス同窓会開催助成金	150,000	50,000	
事務費	340,000	363,034	
(1) 通信費	300,000	355,064	役員会案内発送代を含む
(2) 消耗品	20,000	1,110	
(3) 雑費	20,000	6,860	入学式アルバイト代、ATM硬貨預払料金
入学式	7,000	1,000	
(1) 旅費	7,000	1,000	会長旅費
卒業式	307,000	225,360	
(1) 旅費	7,000	1,000	
(2) 記念品・花束	300,000	224,360	記念品代、花束代
大学支援金	500,000	281,817	(大学支援金内訳)
その他	50,000	20,000	国際交流事業、大学祭での同窓会出席、オープンキャンパス、在学生・卒業生交流会、退職教員への花束
支出小計	2,744,000	2,370,701	
次年度繰越金	1,231,718	2,011,218	
支出合計	3,975,718	4,381,919	

積立金		
	6年度予算額	5年度決算額
ゆうちょ銀行	6,000,000	6,000,000
百十四銀行	3,005,629	3,005,629

令和6年度事業計画

香川県立保健医療大学同窓会事業計画

1. 組織に関する事項

1) 会員増加対策

- 新入生に対する入会推奨
- 在学生未加入者への働きかけ
- 新入会員への入会記念品の配付

2) 役員・評議員会(年3回)

3) 総会・記念講演会

(2年に1回:令和7年度開催予定)

4) 役員・評議員構成の再構築等、会員相互のつながりの強化

- 役員、評議員構成の再構築
- 卒業生就職施設との連携強化(大学祭での出展)
- 各クラス同窓会開催助成金

2. 同窓会活動に関する事項

- 会報誌「大樹」21号の発刊
- 大学祭での出展
- 香川県立保健医療大学ホームページ同窓会コーナーの充実
- コミュニティサイト「Bikita」の広報

3. 大学支援に関する事項

1) 大学委員会への支援

- 大学図書館の専門図書の購入支援(継続)

2) 大学行事への支援

- オープンキャンパス(継続)
- 国際交流(継続)

3) 会員参加による事業への支援

- 保健師交流会(継続)
- 助産師交流会(継続)
- 臨床検査技師交流会(継続)

4) 入学式、卒業・修了式

- 卒業生、修了生への花束贈呈(継続)
- 学生会員の卒業・修了生への記念品贈呈(継続)

香川県立保健医療大学  
同窓会通常会員入会状況

(令和6年4月24日現在)

歴代学校名	人数(人)
香川県衛生検査技師養成所	156
香川県臨床検査専門学校	348
香川県看護専門学校臨床看護学科	1,187
香川県看護専門学校公衆衛生看護助産学科	458
計	2,149
香川県立医療短期大学臨床検査学科	69
香川県立医療短期大学看護学科	68
香川県立医療短期大学専攻科	31
計	168
香川県立保健医療大学臨床検査学科	296
香川県立保健医療大学看護学科	905
香川県立保健医療大学助産学専攻科	27
香川県立保健医療大学大学院	12
計	1,240
臨床検査学科在学生(うち令和6年度新入会員)	76(18)
看護学科在学生(うち令和6年度新入会員)	241(62)
大学院(うち令和6年度新入会員)	31(2)
計	348
合計	3,905

※助産学専攻科生および大学院生のうち本学の卒業生です  
すでに同窓会に加入しているものは除く

香川県立保健医療大学  
同窓会(翠丘会)役員・評議員名簿

(令和6年10月4日現在)

役職名	氏名	回生	区域
会長	松原 文子	看専16、看公助14	高松
副会長	吉本 和子	臨専9	高松
副会長	瀧川 実穂	看専27、看公助25	高松
副会長	小林 秋恵	看専26	教員
幹事(会計)	小河 佳織	短大検3、大学院1	教員
幹事(会計)	平井智穂子	看専33、看公助37、大検1	教員
幹事	奥田 潤	臨床検査学科教員	教員
幹事	香川 美海	大学19、看護学科3年	学生
監事	筒井 真人	短大検1	高松
監事	岡野 由佳	看公助24	高松
評議員	吉井由美子	看専21	高松
評議員	高木 美香	看専31、看公助29	高松
評議員	四宮 健吾	大看9	東讃
評議員	高坂 知子	短大検1	高松
評議員	山本 裕介	大検3	高松
評議員	小林 紀子	短大看1	西讃
評議員	金丸 雅子	短大看3	中讃
評議員	堀井 和世	短大検2	高松
評議員	金 アンナ	大学院14	教員
評議員	荒木 涼花	大学18、看護学科4年	学生
評議員	新居 葉奈	大学18、検査学科4年	学生
評議員	榎木 華恋	大学18、検査学科4年	学生

国家試験合格状況

多くの学生が県内の医療機関や施設に就職しました。

種別	看護師	保健師	助産師	臨床検査技師
令和5年度	受験者数 70	1	9	19
	合格者数 70	1	9	19
合格率	本学	100.0%	100.0%	100.0%
	全国平均	93.2%	97.7%	88.0%

\*合格率の全国平均は、新卒者のみの全国平均です。

住所変更は、小野高速印刷(株)までご連絡下さい!!

TEL 0120-73-7288 FAX 0120-81-2299  
E-mail:meibo@dousou.info